

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi

洞串 -どぐし-

Winter 2014

Vol.4

特集 日本の人形劇祭を訪ねて 「北海道編」



DOCUMENT Vol.4 2014年1月発行 発行：人形劇のまち飯田「運営協議会」
制作：FAO法人いいた人形劇センター TEL.050-3583-3594 FAX.050-3583-3594 E-mail: itida-puppet@mits.janisor.jp

掲示板 いいた人形劇センター
からのお知らせ

日本初
公演

フランス人形劇 「カンパニー・ア」in飯田 チケット好評販売中!!

2003年フランスで結成された「カンパニー・ア」の日本初公演が飯田で実現します。上演作品は「みにくいアヒルの子」。アンデルセン童話の物語をベースにしなが、その枠に収まらず人間の本質を問いかけます。フランスで絶賛された話題作をお見逃しなく!



Photo:Jef Rabillon

日程：3月8日(土) 14:00-18:30
9日(日) 11:00
会場：飯田人形劇場
料金：前売り大人 2,500円
18歳以下 2,000円(当日各500円増)
対象：9歳以上

問合せ ● いいた人形劇センター
TEL.050-3583-3594

Dogushi

並木 さんぽ

掲示板でもお知らせしたとおり、3月8日・9日にフランスから人形劇団「カンパニー・ア」がやってきます。毎年夏に開催されるフェスタ以外で、海外の劇団が飯田公演を行うことはそうありません。「人形劇のまち飯田」だからこそ実現したこの公演、大人の方にも見応えのある作品です。どうぞご期待ください。次号は4月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子



View of IIDA

飯田駅構内に、飯田高校書道班のみなさんが「私の好きな南信州」をテーマに書いた作品が展示されています。りんご並木、霜月祭り、五平餅などの中に「人形劇」を発見!「人形劇のまちとして知られる飯田へぜひ足を運んでください」と、書に込めた思いもつづられています。展示は2月13日までです。

わかる!! 人形劇用語

「暗転」(あんてん)

舞台上の装置などを移動させ、違う場面へ移ることを「場面転換」と言います。それをお客さんに見えないようにやるのが「暗転」です(次回は「明転」)。それを「暗転幕」といわれる黒などの幕の後ろで行うか、照明を落としたり真つ

暗の中で行うのが、暗転です。商業演劇などの人数に余裕のある舞台では舞台スタッフがこれを行います。暗転は通常役者がこういったことを行っています。

暗転の最中はもちろん喋つてはいけませんし、道具などを置く場所の正確さも求められます。と同時に、観客を長く待たせるわけにはいきませんので、素早さも求められます。転換の稽古は、ストップ



(人形芝居燕屋くすのき燕)

ウオッチ片手に行われ、優秀な劇団の転換はまるでF1レースのピット作業のようです。

日本の人形劇祭を訪ねて「北海道編」

人形劇のまち飯田では毎年8月に日本で最大規模の人形劇の祭典「いいた人形劇フェスタ」が開催されています。しかし、人形劇の祭典が行われているのは飯田だけではなくありません。全国各地で一年を通して大小さまざまな人形劇祭が開催されています。今回はその中から42年もの歴史を持つ「札幌人形劇祭」をリサーチします。

飯田とは異なる 「コンクール形式」の祭典

いいた人形劇フェスタ2014で計画している北海道特集に向けたリサーチ活動として、昨年11月23日・24日の2日間、札幌市こどもの劇場やまびこ座で開催された第42回「札幌人形劇祭」に観劇参加しました。

札幌人形劇祭は札幌及び北海道のアマチュア人形劇団が出演し、審査員が評価するコンクール形式のフェスティバル。今年は子ども部門7作品、大人部門9作品の合計16作品が上演されました。この中から得に印象に残った2作品を紹介します。

子ども部門最優秀賞の人形劇団「ふるやのもり」。こぐま座こども人形劇団卒業生が結成した中学生・高校生のグループです。斬新なアイデアいっぱいのエンターテインメント作品で、審査員も絶賛。泥棒が天井裏

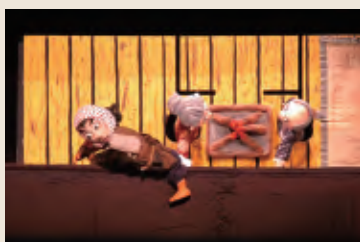


合評会の様子。アマチュアの作品に対し、プロの評価やアドバイスが聞けるとあり、参加劇団のメンバーが熱心に耳を傾ける

から地面まで落ちていく場面では、その距離感や緊張感を、カメラアングルや再生スピードを使い分ける映像作品的手法で表現します。続いて子ども部門優秀賞の人形劇団「おおかみがんばれ」。こちらも、こぐま座こども人形劇団を卒業した中学生2人組。観客も審査員も虜にした、かわいくて楽しい人形劇。これら2作品は、今年のいいた人形劇フェスタの注目作品になるかもしれません。

札幌人形劇祭は、コンクール形式であることと合評会が行われることが大きな特徴です。合評会は各日の上演終了後約2時間にわたり、4人の審査員から各上演作品の評価や次へのアドバイスが行われます。評価される参加劇団も、次の上演・制作に向けたアドバイスを少しでも聞き出そうという真剣な姿勢で参加していました。多岐にわたる刺激的な全16作品を観劇し、大興奮の視察旅行でした。

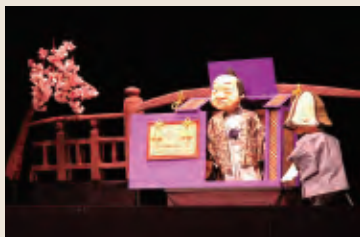
(飯田文化会館人形劇のまちづくり係 北林克己)



子ども部門最優秀賞の人形劇団「ふるやのもり」



子ども部門優秀賞の人形劇団ビスケット「おおかみがんばれ」



大人部門最優秀賞の人形劇団とらえもん「絵すがた女房」



札幌人形劇祭の会場「札幌市こどもの劇場やまびこ座」

札幌市こども人形劇場 こぐま座

昭和51年、日本初の公立人形劇場として開館。人形劇、腹話術、紙芝居など札幌市内で活躍しているアマチュアが中心となって上演を行っている。

札幌市こどもの劇場 やまびこ座

昭和63年、人形劇・児童劇・伝統芸能など児童文化の創作・学習・鑑賞・発表の場として開館。人形劇団や劇団と協働し、より優れた子どものための舞台芸術を提供していくことを目的とした、子どものための劇場。

わくわく イベントスケジュール

- 2 FEB** いいた人形劇まつり りんごっこ劇場vol.10
2月9日(日) 13:00 会場/飯田女子短期大学アカシアホール
出演/地元人形劇団 料金/200円(3歳未満無料)
- みんなおいでよ!! 人形劇とうたのお楽しみ会
飯田市公立保育園人形劇研修会 発表会
2月15日(土) 10:00、13:30 会場/飯田市竜丘公民館
出演/同研修会の4劇団 料金/200円(3歳未満無料)
- 人形劇ワークショップ第三期
2月の毎週金曜19:30~22:00 会場/飯田文化会館
2015年1月初演の人形劇「人魚姫」に向けた美術製作

- 2 FEB** 人形アニメーションの作業場
2月8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日) 10:30~16:00
会場/川本喜八郎人形美術館 料金/400円(入館料)
川本美術館のスタジオでこま撮りアニメーションの撮影を体験
- 3 MAR** フランス人形劇「カンパニー・ア」日本公演in飯田
3月8日(土) 14:00・18:30、9日(日) 11:00 会場/飯田人形劇場
料金/前売り大人2,500円、18歳以下2,000円(当日各500円増)
- 人形劇ワークショップ第三期
3月中に3~4回予定 会場/飯田文化会館ほか
2015年1月初演の人形劇「人魚姫」に向けた基礎レッスンや美術製作

※開催日時など変更になる場合があります。詳細はいいた人形劇センターTEL.050-3583-3594へお問い合わせください。

海外 Report

2013 雲林国際偶戲節

昨年10月に行われた台湾の雲林国際偶戲節に「ましゅ&Keith with あさぬまちずこ」が参加し、7回の上演と2回のワークショップを行いました。雲林は台湾の伝統人形劇「布袋戲」を代表する4流派のうち鍾任壁の「新興閣」と黄俊雄の「五洲園」を生んだまち。そして、台湾全土を熱狂させたTV人形劇が生まれたまちです。今回は布袋戲を代表する4人の名人全てが参加し、そのうち3人が80歳を超えてなお現役の力強い演技を見せてくれました。



人形劇カーニバル飯田は、3・4・5回と、右肩上がりに規模が大きくなった。その頃、市の方でも問題があった。毎年、助成金を出すのだが、そんな得体のしれない者には出せないというのである。そこで世話を世話人会を組織化して実行委員会にしてくれと言ってきた、世話人会も了承した。しかしこれはこのカーニバル成立の精神にもとるのだ。カーニバル全体は市長が実行委員長を務める。そこに市内のいろいろな団体が参加している。人形劇人は独自の実行委員会を組織して、全体実行委員会に参加してほしいというのである。世話人はこの話を呑んだ。しかしそれでは人形劇人実行委員会は、全体の実行委員会の委員長である市長が委嘱する下部組織になってしまう。これって

まずいんじゃない、そう思っていたら並列してもうひとつ、これはまずいんじゃない、という事が起こった。それは市側が人形劇場の建設を提案してきたことだった。市側としては精いっぱい、人形劇人にサービスしたつもりの方だ。勿論人形劇人の側でも行政はそこまで考えてくれたのかと喜ぶ向きも多かった。でも私は、今、箱物ひとつを獲得して喜んでいられるのだろうか。今必要なのは将来をそのような施設ができた時、それを活用するに必要な人材の育成ではなからうか。飯田は他の地域と違い人形劇人の持ち込みに頼るだけではなく、独自の構成要素を加えた形の創造が必要であらうと考えた。

(つづく)

臃 人形たちのカーニバル

宇野小四郎「人形劇研究家」

「国土庁長官賞、サントリー地域文化賞を受賞して」

人形劇カーニバル飯田は、3・4・5回と、右肩上がりに規模が大きくなった。

その頃、市の方でも問題があった。毎年、助成金を出すのだが、そんな得体のしれない者には出せないというのである。そこで世話を世話人会を組織化して実行委員会にしてくれと言ってきた、世話人会も了承した。しかしこれはこのカーニバル成立の精神にもとるのだ。カーニバル全体は市長が実行委員長を務める。そこに市内のいろいろな団体が参加している。人形劇人は独自の実行委員会を組織して、全体実行委員会に参加してほしいというのである。世話人はこの話を呑んだ。



宇野小四郎
人形劇団ひとみ座創立メンバーで、(公財)現代人形劇センター元理事長。現在、銀の鈴舎主宰。人形劇の上演・演出・出版事業等、多岐にわたり活躍している。



ましゅ&Kei が講師を務めたインプロビゼーションのレッスン

2015年1月の初演に向けて、人形劇「人魚姫」をつくるワークショップが始まりましたとの情報をキャッチ。さっそく「ゲンバ」をおさえるべく、講師と参加者の皆さんが集まる会場へ直行しました！昨年11月に始まったワークショップは、一年以上かけてプロの演出家・美術家らと共に一つの作品をつくりあげるといふ壮大なプロジェクト。月ごとに内容を変え、各分野の講師を招いて多くの視点から人形劇を学んでいます。飯田市を拠点に活動するましゅ&Keiを講師に「インプロビゼーション(即興表現)」からスタート。役者のトレーニング方法を用いたものでキーワードは「イエスアンド」。相手の表現を受けとめ(イエス)、自分の表現を付け加える(アンド)。そうしてコミュニケーションを進めます。最初は



「人魚姫」の場面を想定し、参加者が各自持ち寄ったアイデアを発表。海底の幻想的な雰囲気をも道具とライティングで表現してみる



全員同時に右隣の人へ右手でボールを投げて渡し、左手で受け取る「意識の分散」を鍛えるトレーニング

突撃!!

人形劇のゲンバ Part4

飯田で創造、飯田発の人形劇



キーワード「イエスアンド」を頭におき、コミュニケーションを進めていく



総合プロデューサー・くすのき燕さんと「人魚姫」の人形劇用の場面をつくる

戸惑っていた参加者も講師のアプローチに触発され、回を重ねることに積極的に取り組む姿勢がみられるようになってきました。12月はワークショップの総合プロデューサー・くすのき燕さんを講師に「場面をつくる」レッスン。人魚姫の物語を人形劇に仕立てるにはいくつの場面が必要かを、全員で意見を出しながら考えて10場面を想定しました。さらに、その場面をどう表現していくかのアイデアを全員が持ち寄って発表も。また、上演の際に大切な「意識の分散」を鍛えるトレーニングも行いました。「役の心情を考えて人形をコントロールし、人形がどう動いているかを想像し、相手の役が何をやっているのかをよく見て聞き、小道具を扱い、観客の状態を感じ、あげればキリがない」とくすのき燕さん。今年に入り今田人形座を講師に伝統人形芝居「三人遣い」、人形美術家・吉澤亜田美さんを講師に美術製作と続きます。一年後にはどんな作品が完成するでしょうか。飯田で創造する、飯田発の人形劇の様子は随時レポートしていきます。

Library Cafe

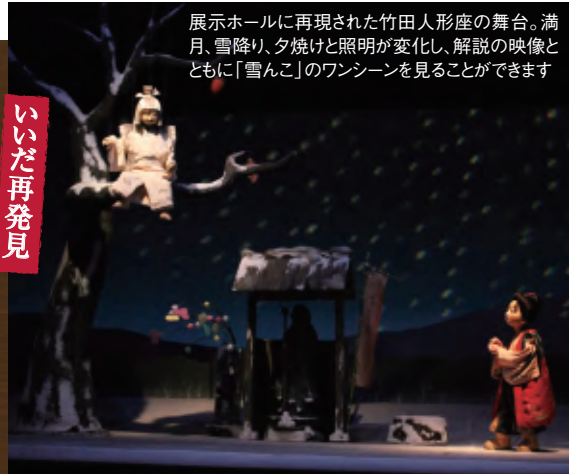
飯田とつながる世界の人形劇図書資料から④

飯田・東野の出版社が郷土文庫シリーズとして発刊したうちの1冊で、全112頁に黒田人形の年譜から現状を詳細に、さらに周辺の現存、廃絶の人形芝居も紹介し、後半は「人形浄瑠璃総論」といった内容で書かれている。上郷小学校で郷土研究の一環として行った成果をその担当であった著者の書き下ろしで、当時でも継承していくのが難しい状況下、黒田のみならず伊那谷の人形芝居の再認識につながるものであったといえよう。また掲載の写真図版が鮮明なものも有用である。古老の聞き書きや資料等は、まさに太平洋戦争の突入直前であったからこそこの貴重な記録だといえる。

(「人形劇の図書館」館長・瀧見英明)



「黒田人形」伊那郷土文庫9 日下部新一著 1940(昭和15)年12月 山村書院刊



展示ホールに再現された竹田人形座の舞台。満月、雪降り、夕焼けと照明が変化し、解説の映像とともに「雪んこ」のワンシーンを観ることができます

いいだ再発見

「竹田人形館」の巻

三百三十余年の伝統を受け継ぐ糸操り人形芝居「竹田人形」の展示と、「竹田人形座」を紹介する「竹田扇之助記念国際糸操り人形館」。入口からエントランスホールを抜けて渡り廊下を進み、四季折々に表情を変える庭園を眺めながら館内へ入ると、竹田人形座の紋「六角竹の笹鶴」が訪れた人を迎えます。館内は展示ホールを中心にしています。展示ホールにはかつて東京都足立区にあった竹田人



日本の伝統的な建築を基本としながら、モダンな美しさを兼ね備えた造りの人形館。天竜川や南アルプスの眺望も楽しめるよう配慮されています

形座の舞台を再現。代表作「雪んこ」の一場面がステージ上に展示されているほか、舞台裏に回って操り手の目線で舞台の構造を見ることができるようになっています。さらに展示室は毎年テーマを変えて作品を紹介。人形をつくるためにあらゆる舞台芸術を取り入れた「竹田人形工房」独自の制作工程や、人形館館長で竹田人形座主宰・竹田扇之助さんの世界の人形コレクションも展示されています。近年は企画展が開催されており、新春特別企画「笑門来福 福助人形展」に続いて2月1日からは「人形劇団むすび座企画展」が予定されています。

東野人形劇あかね

飯田市の東野地区に暮らす子育て中のお母さんたちが集まり、23年前に結成した「東野人形劇あかね」。現在も精力的に活動を続け、年間10回ほど上演しています。

出遣い、棒遣い、指人形、ペープサートなど幅広いレパートリーの中から会場や観劇する対象に合わせて作品を選ぶというのにも



「家族の応援がなければ何十年も続けてこれなかった」と皆さん。2月9日(日)飯田女子短期大学で行われる「いいだ人形劇まつりりんごっこ劇場vol.10」に出演します



市内保育園での上演は園児の年齢に合わせペープサートと出遣いの2作品を上演。終了後、園児とふれあう皆さんのやさしい笑顔が素敵です

テランならではの。上演中に思わぬハプニングが起こってもそこは息の合った者同士、阿吽の呼吸でカバーします。「20年を過ぎて人形劇と一緒に楽しむ仲間以上の気持ちがお互いの中にある。ちょっと合わないときさみしくてね」と話す代表の秦香代子さん。月2回の定例会は悩みごとを相談したり、情報交換の場にもなっているそう。新たな年を迎え、8月のいいだ人形劇フェスタで上演する新作「おきななふ」への挑戦が始まりました。「だれもが知っているお話だからこそ、皆でアイデアを出し合い、私たちにしかできない作品を完成させたい」という皆さんの言葉から、人形劇への情熱を感じました。

日本ウニマ通信

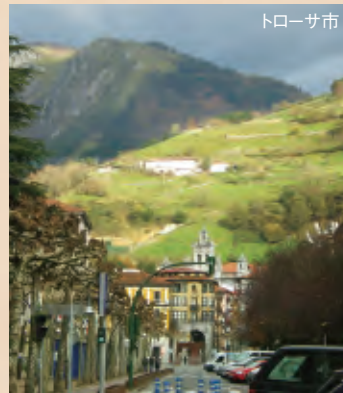
世界みてある記 ②

人形劇の街、スペイン・トロサ市(Torres)

日本ウニマ事務局 ● 松澤文子

スペインの北、フランス国境に近いバスク地方に位置する山の中にトロサ市はあります。繁華街は飯田市より2回りほど小さく、人口はわずか18,000人。市街地から急激に急斜面の山につながる、なかなかユニークな風景を持っている美しい街です。

しかしその街は人形劇では大変大きな存在を示しています。毎年11月〜12月にかけて「トロサ国際人形劇フェスティバル」を開催し、今年で32回目です。2010年に



トロサ市

は念願のトロサ国際人形劇センターが誕生。客席300ほどの専用人形劇場、世界の人が飾られた美術館、図書館、ワークショップができるフリースペース、広い事務所(日本ウニマの10倍!)そして、とても贅沢な宿泊設備が完備されています。

このフェスティバルの特徴は、毎年、1つの国にスポットを当てて、公演、人形展示を行っていることです。2010年は日本が特集されました。日本ウニマはトロサからの依頼を受けて、現代人形劇2劇団、伝統人形劇2劇団の公演、資料・伝統人形・現代人形テレビの人形・付属する小道具等、約300点の展示を行いました。海外でこれだけまとまった展示をしたのは初めてです。この機会を与えてくれた人形劇センターの代表であったミゲル・アレッチ氏が昨年9月に急逝されたことは大変残念なことです。

2016年6月にはウニマ世界大会がここトロサと隣町サンセバスチヤンで開催されます。皆さんも是非一緒に参加しましょう。



トロサ国際人形劇センター